

令和3年度 事務事業評価シート（1）

[令和2年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	健康増進栄養事業			事業番号	011-196
担当部署名	健康福祉	局	健康	部	健康医療推進 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(1)健康で長生きできる都市の実現
			有	取組の方向性	①健やかな生活習慣の形成		
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(3)すべての人に健康と福祉を	ターゲット	3.4
			有	取組	生活習慣病の啓発、対策の推進		
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
		無	現状値	—	目標値	—	
2	関連計画	健康さかい2 1（第2次）、堺市食育推進計画（第3次）					
3	事業開始年度	昭和 27 年度	点検年度	令和 7 年度			
4	実施根拠（根拠法令、条例等）	健康増進法					

事業の概要

5	事業の実施主体（実施主体となる団体等）	本庁
6	事業の対象（対象とする人や物、対象数）	30歳以上～65歳未満の堺市民(約36万人)
7	事業の目的（事業実施によりめざす状態）	健康教育や調理実習等を行うことで食の大切さを知ってもらい、食生活を中心とした健康づくりを推進すること。地域住民の健康増進に寄与すること。
8	事業内容（目的を達成するための手段） ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	生活習慣病予防や健康づくり等に関する栄養教室・健康教育を実施する。 各区保健センターで健康づくり教室を開催し、参加者の健康増進を図るとともに、教室の修了者で構成されるボランティアグループ「堺市健康づくり食生活改善推進協議会」に対して研修会等を実施し、地域に密着した健康づくり活動を支援する。 また、病院・介護老人保健施設等の特定給食施設等の栄養管理に関する実地指導や講演会を開催し、施設給食の栄養バランスの適正化等を図り、市民の健康増進につとめる。 さらに、健康増進法に定める国民健康・栄養調査を実施し、市民の栄養摂取状況や身体状況、生活習慣の状況を明らかにし、健康増進の総合的な推進を図るための基礎資料を作成する。
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）	
10	公民連携・協働事業	

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標	点検年度
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和7年度	
11 栄養教室・健康づくり教室参加人数	人	目標値	4,000	2,000	2,000		
		実績値	3,872	662			
		達成率	97%	33%			
当該指標を選定した理由		栄養教室や健康づくり教室の参加者数を増やして食生活を中心とした健康づくりを推進するため。					
目標値の設定根拠・算出方法		令和3年度の目標値は新型コロナウイルス感染防止対策により定員を半減したため下方修正。					
活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績		目標		
			令和元年度	令和2年度	令和3年度		
12 栄養教室・健康づくり教室開催回数	回	目標値	230	100	100		
		実績値	205	63			
		達成率	89%	63%			
当該指標を選定した理由		栄養教室や健康づくり教室の開催回数を把握することにより、事業の実施状況の指標とする。					
目標値の設定根拠・算出方法		令和3年度の目標値は新型コロナウイルス感染防止対策により回数を半減したため下方修正。					

令和3年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	健康増進栄養事業	事業番号	011-196
-------	----------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

(単位：千円)

事業コスト	項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度
		決算	決算	予算	決算	予算
13	事業費 (a)	3,328	3,240	3,481	1,002	3,492
財 源 内 訳	国支出金	544	506	1,317	0	1,375
	府支出金					
	市債					
	その他 (堺市民健康生きがいづくり基金繰入金)	1,100	1,100	1,100	480	1,100
	受益者負担金(使用料、手数料等)					
	一般財源	1,684	1,634	1,064	522	1,017
14	人件費 (b)	4,950	4,900	5,850	5,850	5,850
15	年間経費(c)=(a)+(b)	8,278	8,140	9,331	6,852	9,342

事業費の内訳

(単位：千円)

事業費内訳	項目	年度		事業費	うち 一般財源	項目	年度		事業費	うち 一般財源
		R2	決算				R2	決算		
16	その他の報酬	R2	決算	0	0	印刷製本費	R2	決算	0	0
		R3	予算	322	22		R3	予算	120	120
	謝礼金	R2	決算	656	176	通信運搬費	R2	決算	31	31
		R3	予算	1,520	420		R3	予算	128	99
	その他の報償費	R2	決算	0	0	手数料	R2	決算	0	0
		R3	予算	147	0		R3	予算	516	0
	普通旅費	R2	決算	5	5	その他の保険料	R2	決算	0	0
		R3	予算	155	73		R3	予算	42	0
	消耗品費	R2	決算	310	310	委託料・使用料・賃借料	R2	決算	0	0
		R3	予算	493	263		R3	予算	49	20

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

単位当たり経費	区分	単位	令和元年度	令和2年度
17	① 栄養教室・健康づくり教室参加人数	人	3,872	662
	② 上記①にかかる年間経費	千円	6,000	6,852
	③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	1,550	10,351

備考 (算出についての説明等) 令和元年度は、教室等とは異なるため、国民栄養基礎調査 (国支出金及び人件費1/3) 分を年間経費から減じた。

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため健康づくり教室の定員を半数に減らして実施した。また緊急事態宣言が発令されたため、当初の予定通りには開催できず、日程を延期したり、個別対応で実施した。
----	---

KPI等への寄与 (基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか)

19	健康寿命の延伸のためには、生活習慣病の発症予防・重症化の予防が欠かせない。 市民の方が自らの食生活を見つめ直すとともに、自ら学んだ知識を家族や地域の方に啓発するボランティア (食生活改善推進員) の養成は市民の健康寿命の延伸に寄与している。
----	---